

あさか外来通信



ほてつぶつ
自費の補綴物を
おすすめする理由

R1.9月号

補綴物（ほてつぶつ）とは、虫歯や歯周病などの治療で削ってしまった部分の歯を補うための、詰め物や被せ物のことをいいます。補綴物には、「保険」と「自費」の2種類があり、私たちがよく目にする「銀歯」は「保険の補綴物」となります。では、「自費の補綴物」にはどんな物があるのでしょうか。

セラミック



セラミックとは、陶器素材で出来た白い補綴物のことをいいます。

特徴①
審美性に
優れている

セラミックには、天然歯と同じような質感や透明感があります。色合いもご自身の歯に合わせることで出来るため、自歯とほとんど見分けが付きません。前歯や、笑った時に見える歯の治療に用いることが多く、清潔感のある印象を与えることが出来ます。

特徴②
金属
アレルギーの
方でも安心

銀歯は経年劣化すると、金属が歯や歯ぐき周辺に溶け出し、黒ずみの原因となります。また、金属アレルギーの方は銀歯に反応し、慢性的な口内炎や歯茎の炎症を引き起こしてしまうこともあります。その点セラミックは、人体に優しく、安心して使用出来る材質となっています。

特徴③
汚れが
つきにくい

陶器素材で出来たセラミックは、プラーク（歯垢）などの汚れや、着色が付きにくいことが特徴です。変色や劣化が少なく、長期間キレイな状態を保つことが出来ます。また、汚れが付きにくいので、虫歯や歯周病の予防にも繋がります。

ゴールド



ゴールドとは、金やプラチナの合金で出来た、金色の補綴物のことです。

特徴①
適合が
非常に良い

ゴールドは通常の金属より柔らかく、歯と補綴物の隙間を緊密に封鎖することができます。この特徴により、「隙間から再び虫歯（二次カリエス）になる」ことを防いでくれます。

特徴②
耐久性に
優れている

ゴールドは折れたり、割れたりしません。強度が高いので、噛み合わせの強い方や、歯ぎしりをする方、また、噛む力の強い奥歯の治療にも使用することが出来ます。外れにくく、劣化も少ないため、補綴物を長持ちさせたい方にオススメです。

特徴③
歯に
優しい

ゴールドは薄く伸ばしても折れにくいので、虫歯になってしまった自歯の、削る部分を少なくすることが出来ます。また、天然歯と同じくらいの柔らかさを持ち合わせていますので、長年使用しても噛み合わせの歯をすり減らしたりすることがなく、ご自身の歯に負担をかけにくい素材になっています。

自費の補綴物の一番のメリットは、「二次カリエス」を防いでくれるということです。保険の補綴物は、長年使用していると自歯との間に隙間ができて、汚れが付着することで、再び虫歯になることがあります。自費の補綴物は、自歯との密着性が高く、虫歯のリスクを減らすことが出来るため治療後の歯を長持ちさせてくれます。



過去の外来通信・医院についてはこちら

